

京城日報

刊夕日五十
發行所 東京市本町三丁目
電話 二二二二
代印所 東京市本町三丁目
電話 二二二二

開原露兵殺害事件

下手人は獨逸人の煽動
露公使館は奉天開原市に於ける露兵殺害事件の調査報告を據りて、下手人は獨逸人の煽動によるものであると断定し、獨逸人に對して厳正の処分を要求する。獨逸人は、この報告を據りて、下手人は獨逸人の煽動によるものであると断定し、獨逸人に對して厳正の処分を要求する。

塞軍のイワン占領

塞軍はイワンを占領した。イワンは、塞軍の進攻に對して、激しい抵抗を奮起したが、塞軍の優勢な攻撃に對して、ついに占領された。イワンは、塞軍の進攻に對して、激しい抵抗を奮起したが、塞軍の優勢な攻撃に對して、ついに占領された。

英軍難攻不落の地を奪ふ

英軍は難攻不落の地を奪った。英軍は、難攻不落の地を奪取するために、激しい攻撃を繰り出した。英軍は、難攻不落の地を奪取するために、激しい攻撃を繰り出した。

旅團對抗演習

旅團は對抗演習を行った。旅團は、對抗演習を行うために、激しい戦いを繰り出した。旅團は、對抗演習を行うために、激しい戦いを繰り出した。

元山に商船學校

元山に商船學校が設立された。元山に商船學校が設立された。元山に商船學校が設立された。

吉原氏東京著

吉原氏は東京に著した。吉原氏は、東京に著するために、激しい戦いを繰り出した。吉原氏は、東京に著するために、激しい戦いを繰り出した。

東拓職員免職

東拓職員は免職された。東拓職員は、免職されるために、激しい戦いを繰り出した。東拓職員は、免職されるために、激しい戦いを繰り出した。

市街整理委員

市街整理委員が任命された。市街整理委員が任命された。市街整理委員が任命された。

入除隊兵者發

入除隊兵者は發せられた。入除隊兵者は、發せられるために、激しい戦いを繰り出した。入除隊兵者は、發せられるために、激しい戦いを繰り出した。

入營兵

入營兵が任命された。入營兵が任命された。入營兵が任命された。

吉原氏を送る

吉原氏は送られた。吉原氏は、送られるために、激しい戦いを繰り出した。吉原氏は、送られるために、激しい戦いを繰り出した。

元山に支那領事館

元山に支那領事館が設立された。元山に支那領事館が設立された。元山に支那領事館が設立された。

大統領選確定

大統領選は確定された。大統領選は、確定されるために、激しい戦いを繰り出した。大統領選は、確定されるために、激しい戦いを繰り出した。

東清交渉中止

東清交渉は中止された。東清交渉は、中止されるために、激しい戦いを繰り出した。東清交渉は、中止されるために、激しい戦いを繰り出した。

日支銀行案

日支銀行案が提出された。日支銀行案が提出された。日支銀行案が提出された。

支那通信發行

支那通信は發行された。支那通信は、發行されるために、激しい戦いを繰り出した。支那通信は、發行されるために、激しい戦いを繰り出した。

工廠新設と憲派

工廠は新設された。工廠は、新設されるために、激しい戦いを繰り出した。工廠は、新設されるために、激しい戦いを繰り出した。

造船獎勵法案

造船獎勵法案が提出された。造船獎勵法案が提出された。造船獎勵法案が提出された。

志士學者に贈位

志士學者に贈位された。志士學者は、贈位されるために、激しい戦いを繰り出した。志士學者は、贈位されるために、激しい戦いを繰り出した。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

支那大使館

支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。支那大使館が設立された。

描き出す陣中閑日月の一齣

破れたさうだ」と

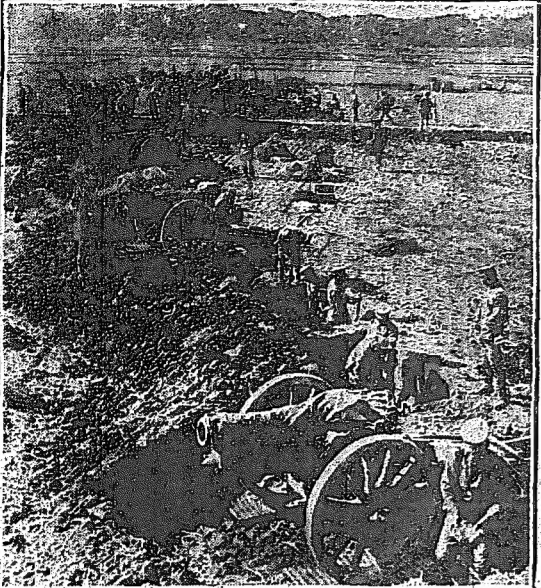
飛行機 軍司令部を襲撃

平安北道鐵山	十一月八日	！
平安南道平康	十一月九日	！
慶尚北道金泉	十一月十日	！

首相

覽品

◇大演習畫報
(上)北軍重砲兵陣地(下右)北軍據地をせんす(下左)南軍



●談合事件判決理由書

否やを按ずるに若し單純なる隨意契約の場合に
らば注文者は

玄海波高

理由書
(被告供述) 略抑々競争入札に随音



名山はあつた

百十五名に刑の執行監獄を與へざりしを以て長兵衛以下十六名の位訴は何れも



之德云耶義水

千田の妙振の出

**七歳より下の子に
コトモかぜいねつ**

特效薬

山梅内口垣田
主 效
学醫學士
方証監
刺明修
大坂東京
丹平商會

かぜ、ねつ
流行性感冒
百日咳、其
他一切

りあ=店番各、英十三、英十二、英十價

太田胃散

○飲過ぎ、食過ぎに妙なり
 明治十の廿四日、第五十一回
 本館査察、東京府、大田町、藥賣店
 ▲之日對する爲め、藥店に調査す



下痢、胸腹痛、頭痛、眩暈、食物不化、嘔吐、
 腹痛、腰痛、手足麻痺、痰多、咳、
 喉痛、口乾、舌燥、口臭、
 胃弱、食欲不振、消化不良、
 便秘、痔瘡、婦人經閉、
 產後諸症、小兒疳積、
 驚風、夜啼、一切雜症、
 無不應手而愈。

高木興兵衛
 京都西門外
 御膳所二丁目
 八十八番地

[illegible]

多病氣中の處死亡
 五日午前八時
 仕候葬送の儀は明
 十六日午後四時半
 永樂町本願寺に於
 て執行仕候此段辱
 知諸君に謹告仕候
 京城觀水洞十七番地
 岡田正三
 親族友人一同
 神佛葬儀請負
 供花御寄贈品一切
 京城大和町第十一五一
 大和葬儀社
 電話二四三八番

油敵 大勝
風は萬病の本
守妙 熱 咳痰 婦人の
冷込より起る諸病その他全
身の温め藥として
一番よく働く
一度試せば
驚く奇効
試用金五錢 二貼金拾錢
定價六錢 三貼金拾五錢
總用玉座金壹圓 交貼金貳圓
東京市下谷區池之端町二十七番地
日本橋二丁目
田治兵衛
東京二九八番地
◎全國到處にあり



守姥


モリ
ミヨウ

九重香油

本
川
阪
東
京
位
京
城
本
町
夏川商店

電話二八五

安城郡邑内内堀基里八拾貳番
理事 石塚
東京 天正五年拾壹月拾四日登記
地方法院 安城出張所



華やかながい 天長節の夜會

るたし製創の者學

美顔白粉

高貴御料

生れつき色が白いやうな白さに附く白粉

花の如き貴夫人令嬢方の御粧ひ

各宮家御用
美容術大家 マリー・ルウ井ス嬢 謹話

名にしおふ

天長節の夜會と申せば、日本で第一の目出度き日の、今日を晴の夜會であります。お城

の邊には瑞雲鬘鬘き、霞ヶ關に百花繚亂といふ有様、誠に目出度しきも口出度き大夜會に席を列せられる貴夫人令嬢方の美しい御粧ひこそは此世の美しいもの、中の最も美しいお姿でありませう。其美しい御粧ひの白粉には大方美顔白粉が召された様拜見致しました。

天人か天使

かと思ふばかりの當夜の貴夫人令嬢方の中にて、及ばず乍ら私が御粧ひに力を盡しました方々には、私は豫てから日本で最良の白粉と撰定して高貴方に御薦申上げました美顔白粉にて立派な効果を挙げましたが、其他の方

々も白粉は矢張一番上品に化粧榮のする美顔白粉をお用の様でしたそれはあの白粉に特有の生來の様な純潔な白さと色艶で分ります。

▲光榮堂に是に過ぎず記して慶を百萬の愛用家諸嬢に煩つ!!

▲名譽ある美顔白粉を
創製したる

桃谷研究試驗部

▲顧問 醫學博士 丹波敬三氏
醫學博士 山本淳二氏

▲主任 醫學士 桃谷幹次郎
醫學士 小磯勝次郎
同業學士 齋藤健助

大坂 桃谷順天館 東京

目次

活に世に出る。一たび大勢を得れば、軍事の
 運、外交の和親に備へたりと観するや、
 政府は將來の華盛頓政府は、必ずや支
 那問題に太平政策に根據主義を取り
 他國と衝突を引起すことを避くべから
 ずと爲し、既にしてウイリソン氏再
 選を聞き、忽ち太平洋の事亦言ふ
 洋船に干渉すると思はれたるは、深きだ
 り、日本と美國の共同と協調との必
 要を確し得べくして、兩國のこれ
 より益々其親善を加ふべきや言を待
 たるなり。

朝鮮の麻織物 (四)
 中央武蔵所 室田武藏氏談
 雲反て日光の直射を受け、非常に堪
 えず、如き麻織物に、
 折目少く、且つ一般の習慣、需要の
 退を來す、如きことなるべきも
 退を來す、如きことなるべきも

之れ亦た離れなき沙汰なり、十九世
 未だ以來、北米合衆國の内外交易は
 共和黨、民主黨とに依りて其方針を
 異にするところ甚だ離れなり、世間民
 主黨は事なかれ主義なり、退嬰主義
 なるを主とせしむる、ウィルソン氏
 の主張は則ち如何、其の附屬品を大
 量に輸入し、新式の手續機又は力機
 能なるものを輸出すること不能に
 なるべき傾向を有するが故に若し之
 に於て利金少く、莫大なる資金の便
 に達せしめて大量の製織を爲す能
 うに常にか支那製品のためには倒せ
 るべき傾向を有するが故に若し之に
 於て利金少く、莫大なる資金の便
 に達せしめて大量の製織を爲す能
 うに常にか支那製品のためには倒せ
 るべき傾向を有するが故に若し之に

斯くの
 朝鮮に於ける在米の麻布は其の生
 産に於て利金少く、莫大なる資金の便
 に達せしめて大量の製織を爲す能
 うに常にか支那製品のためには倒せ
 るべき傾向を有するが故に若し之に

△麻布製織の不振
 如く低廉なる工賃を以てする時は
 するも前述の如く、手紡、手製麻織に
 於てのみ手工的に製織することを得
 るるも前述の如く、手紡、手製麻織に

△代用品の製織
 前述の如く

の積極的なるは吾人の知るところにして、共和憲政政治家をして其間に當らしむるも、蓋し之に加ふる所あるべからず。若し其れ海軍大擴張に際して其組織方案のごときは、宛然と共和黨のすべき所の事に屬す。當知共和國政府は支那に對する政治借款に

小生は長沙を去りて南岳に登らんとし是れを問ふに、皆曰く水濶くして舟楫難行、故に舟車並用なり。

ちや、已なくば艇中に泊せざる可らず、此れども近時成兵是れに據りて

十一月八日襄陽の船中にて、

放浪漫記

大谷光瑞

[illegible]

中元夜の宵政事堂開閣の如く其の事
を明かにするを得べし
也
民主黨と共和黨との間には、
多少其氣脈を相同くせざる所のもの
亦これ無きにあらず、兩者共に或場
合に於ては實業主義進行方針を取る
と雖も、其間自ら冷然殊途の差なし
を感し、直ちに北歸に決し、暗途
を發し、小汽船にて九時臨津浦に
得ず、甚だ失望せり、午後二時長
を短縮せり、武慶丸に翌五日午
時鐵嶺北の千午前州に著き、岸
登り、舟橋に至る、樓は口岸に盛

事に従ふ場合にありても、共和黨なんどはを圖るに、船夫等皆曰く、其を以て自己の本然の主義と爲水淺く扁艇に非ざれば達せずとすを以て、自ら爲督領顯著なりと雖、舟を捨て陸行せんか、七十五支那民主義は其の自己の「アラウド」は一日學なり、風雨り旅命ある可からず、之に寄り眺望せんとする陰雲四塞、ん見る可からず、君亦模柳の中にあり、此日北東風頗烈、東方七八マイルの交ひ

[illegible]

なるものなるは這廻の消息を問ふ
るものにして彼の内地に於ける手
の如き實際の使用に於て其の他
何れも總括の布にして其の他表
面顧み得て販賣せるものの中擬
糸製品なるもの夥かざらば一
門家の望しむ肯するところなり

△今後の計畫 以上略説し來
りたるところに依りて朝鮮麻布工
業の前途を探索判斷する時は支那文物
の發達に比し將て我が朝鮮に於ては

風呂吹白く襪三方
荷輕と落葉風聲句
山家落葉新聞の盡過ぎ
丸木橋下落葉に吹かる
どうせうも草腐れ落葉
母迎ふばと風呂吹あつく
落葉踏む暗くなる路
落葉啼ゆの落葉殘菊
不考郎
柳

平
丘
虎
坡

其の速度、著しかるべく、隨て一般工賃の昇降を來し、鮮人地方農家に於て他に不利なる雇業を得るに至るべく、本業の如き雇賃の低廉なる工業は自然豊富なる原料を產出し、勞金の低廉なる支那に委託せらるゝが如きことなるべきや、知べからざるなり。

然りと雖も、近時半島企業家中、吾人の常に唱進せる紡績、麻織又は振麻織を経緯と代用して、鮮人向衣服、襪、洋鞋、服地、帆布、真地等の經緯を、甚だ有望なる事業として、飛策しつゝあるは事實にして、吾人も亦之の種事業の成立を希望して、止まざる共に、總ての成り果てを待ちけるなり。

○秋雨愴愴 安永 春雨獨臥亦添下。蕭條夜雨時。敗葉紛飛。殘影似移。家道隨千里。夢難醒。愁思上。秋上露碑。

評曰 措語清道

○晴大鶴 西出 白陰一天秋雲碧空清。白鶴雲中鳴有聲。曉來仙客舞。霞色瑞氣滿神京。

評曰 偉麗莊雅

○小春雅興次成田魯石韻 大陸 鳩仙流御小春雪。無風山中時不彫。影忘思。夢夜夜。雲空時時。平日閑情。佳興。天長雲。

河瀨岸を拍てり、緋々秋風洞庭波今
木葉下の景より、數十歩を先ずるが
如く、北帆の漣に、もとの汽船と遇
逢を爭はす。雲し洞庭の秋色は
晴空、碧に非らんは不可なり、李
太白の水盡南天不見雲の實景を賡
ざる可からず、今回は非常の不幸な
りす、君山は扁舟にして膝下に非
らず、之れを望むに有も可、無も可
し、李太白の劃却君好平鋪湘水流の句も
一理なき能はず、傳へ云ふ、雲子二
記の藝此中にあると、涙流の理行亦
殘せりと、小玉はれを得んし欲
探るに、今多く暇伐を經て甚少な
何ともする能はざるが如し幸に漢口
に歸り一枝を得しを以て、之を蘇蘇
先生に御贈し申候、今回は水盡の
少と惡天の爲め、湘南の探訪に非
ざらん、紅蕖黃葉蓮花如畫は、猶士
烈然敗に殘る候、秋色は無きに非
ざるも、紅蕖黃葉蓮花如畫は、猶士
餘日の後より始めて見る可し、湘
の秋は、清流と相續て映發す、湘
今回は微雨の爲め、行潦水に湛じ
も湘灘小生の波風流を惡み、秋色
も湘灘小生の波風流を惡み、秋色
落麗の多きは驚くべき、唯平沙の
空をなし半空を經へり、此の附近

し、却而長沙以南上流地方に遷せり
と、蓋し二姓の怨を、湖上の竹を
を荻の九竄に送る、湖上の竹を
に渡振斑々たらしめしならんか、李
太白歌て曰く、帝子泣江綵雲間、隨風
波今古無還偶、邊望見蒼梧之深山
本橋山崩水絕竹上之波乃可滅
時より渡振斑々の傳説存せしなら
人未だ多し、統緒二橋なるに
よ、六月、漢口に著し、北東風未だ
猿鵲を渡せし、七日、致し候。八日、夜九
時、馬關江に乘じ、上江致し候。八日、夜九
來り露降れ、湘湖の敗を、匡廬に傾け
んとし、九江より還臺するに、白雲山
を封じ、厚貌見る可からず、幸ふ今

今、好事の土、西宮射利の徒と必狎て、淚痕竹を殘涙せしめんとす。春
 楫山、鰯湖、水旱候を待たざるも、竹上
 の涙の澆するは遠きに非ざるを可し
 を被するの地無きも、落葉の赴を如
 故に直行致し候。九日の夜上海に著
 する豫定に御座候。今回は敗戦の痛
 況を御覽に供し候。御側笑下され度
 草を迄

登記公報

上野區大正五年拾壹月八日其ノ柳
用大正五年拾壹月拾一日發シタリ
右ノ略號ニ依テ東城會社ヲ登記セ
ル大正五年拾壹月拾一日ヨリ
舊城村木紫榮株式會社親緯後崔相致
任期滿タルニ處大正五年拾壹月參拾日
重任タル
東洋殖産株式會社副總裁野田卯太郎
大正五年拾壹月四日願ニ依リ耐繼
ハ免セラレタリ
高橋地方金屋合泰理事務永是免セ
同大正五年拾壹月參拾日發付シ免セ
五番地片岡介三郎理事ニ任命セラレ
九番地片岡介三郎理事ニ任命セラレ

[illegible]

同	朝鮮刑法官制典範松金	七
同	國民刑律法典	五
同	警察衛生法規	四
同	朝鮮地方行政法規	三
同	租稅及司法法規	二
同	土地林野法規	一
同	同教育法規	五
同	同水產法規	五
同	同交通法規	五
同	同現行諸法案	八
同	債權證券論譯著案允田秀夫	八
同	物權法提要上卷一卷福三	七
同	經濟學論上卷日本帝國的前途	七
同	大正の青年と帝國の前途	八
同	朝者の爲に杉本大雄	三
同	讀文度講語油本茂一	八
同	大正六年度誌	八
澤山著	荷仕候	八

朝鮮鑛業要覽 一部定
附 朝鮮地質鑛產圖 四冊
京坂日報社代理部 大阪屋號書

毛筆 習字

ペン

法學博士豐島
法學博士花井

期間愈々
本日刊

追
込
あ
れ

素人に
できる

氏名變更簡易手續法

戸籍上の改姓改名は絶對に出來ぬ者ぞ確信して居る
文けの手續にて而も容易に變更し得る簡易手段あり實例と書式を掲げ
る手續に關し最も通俗的に詳述しあれば誰れにても本書に因り其目的を
達し得るものである

發行所東京芝草堂尾町八八振替東京一七〇九七番 大日本戸籍法研究會

衆學士齋藤土添田増男先生閱

定價金八十五錢郵送料四錢

堀井 膳寫版

寫勤活
雅門專

活動之世界

組臺なる模造品に迷はざるゝ勿れ

京城南大門通二丁目
（堀井）騰爲堂京城出張所

電話 四四〇二
郵政 口座 五九六〇二八番

[illegible]

▲月二回發行 ▲定價一部七錢五厘 一ヶ月金拾五錢 ▲見本進寄
 讀め!! 本誌は吾國消防界に於ける唯一の機關
 紙な消防學術の研究誌なり消ける羅針盤なり
 發行所 東京市芝區豊田久保町五番地 消防新聞社
 電報口座東京三三八六番

最新最良の習字講義錄一新學期を開
 始し會員を募集す目下入會の最良
 好期也 毛筆部六ヶ月卒業ペン部二
 ヶ月卒業 見本付會則無代進呈
 東京市牛込區 早稻田大學前 東京習字學會

前金不要豫約募集

監獄局長谷田三郎先生監修
 清水書店編輯部編纂
 早稲先生監修

東京市
 神奈川
 田路

豫約部數壹萬部限り（但し豫約部數超過の場合は
期間中こ進め特權撤回す）
豫約〆切期間大正五年十一月三十日限り

冊 一

永樂書店

電報掛
本館
東京
六本木
四

定價金參圓五拾錢 豫約特價金貳圓八拾錢
● 豫約規定內容見本御希望の諸寶は御申越次第即時送呈●

五七 六四 九四

改訂大増補第七版

[illegible][illegible]

電話 信用にてやさしく経営に
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

貸金 御かしにいたしました
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

電話 信用にてやさしく経営に
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

貸金 御かしにいたしました
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

電話 信用にてやさしく経営に
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

貸金 御かしにいたしました
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

電話 信用にてやさしく経営に
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

貸金 御かしにいたしました
 本町四丁目一丁目
 京成大和町二丁目
 三十番地

希望の才に育つて
電話二九二八番
○護士三浦末喜
京永樂門二千八百二十一番地
恩給年令長期月時現金立
短期無保俸期一步二厘五毛
京城南大門口
（正副）成町山口屋
筑前琵琶教授
出張取扱所
京都一丁目
十二丁
礦物定量分析
京府太田通（朝賀公園駐左小路）
電話一三四番坂元分拆所
恩給年金即時現金
低利

655

727

株 成金黨を鎮出す
大阪府村徳七代理店
京成本町二丁目田中商店
電話(長九)二番田中商店
●はねつぎうちみ等
一切の治療依順に應ず
月治可 柔術道場

●京城春川開行自動車賃金片道四圓
●南大門通廣橋自勤車
●電話二一九番 主務 金玉福

故黃圃追悼會

▲龍區十月中は二部鑑類

英佛兩軍追擊猛烈
 ポークールミローモン兩地危殆
 シンム北方アンクル河兩岸に於ける英軍の進撃は益々猛烈に觀望せられ、既にポーモンタメルを奪取したことは既電の如くなるが更にアンクル河に沿へるポークール及びポームの西約五哩に當るミローモンの兩地を危殆に陥らしめつゝあり又佛軍はオーベツグに於る獨逸の進撃を退しヘロンヌ道路に對し猛烈なる砲火を集中しつゝあり(桑港電報)

伏見宮御發期
 伏見宮殿下には十六日御召列車にて御歸京の御豫定なり(門司特電)

閑院宮御歸東
 閑院宮殿下には十五日午後七時十分下關御發御歸京の途に就かせらる(門司特電)

陸軍異動
 十五日(東京特電)に左の如く異動あり
 陸軍少將待命被仰付
 陸軍歩兵大佐 佐藤・房隆
 陸軍歩兵大佐 佐藤・房隆
 陸軍少將待命被仰付
 陸軍歩兵大佐 佐藤・房隆
 陸軍少將待命被仰付
 陸軍歩兵大佐 佐藤・房隆

任陸軍中將監
 陸軍一等軍醫正 川島 廣
 陸軍醫官補近衛師團軍醫部長 山田 大
 陸軍一等軍醫正 山田 大
 陸軍中將監 佐田公使館附武官補 佐藤 三
 佐田公使館附武官補 佐藤 三
 佐田公使館附武官補 佐藤 三
 佐田公使館附武官補 佐藤 三

陸軍歩兵大尉 田代 龍一
 補支那公使館附武官補佐官 柴山 重
 皇族附武官歩兵中佐 柴山 重
 任陸軍歩兵大佐補歩兵第四聯隊司令 藤田 隆
 任陸軍歩兵大佐補歩兵第三十四聯隊司令 佐藤 三
 任陸軍歩兵大佐補歩兵第三十四聯隊司令 佐藤 三
 任陸軍歩兵大佐補歩兵第三十四聯隊司令 佐藤 三

熊谷聯隊區司令 佐藤 三
 佐藤 三
 佐藤 三
 佐藤 三

より輸出したる在米棉は五百六十

初は財政顧問部員として金融其の他
の事務に携はりしは間も無く税務に
任ぜられたるなり
▲既に十餘年を格たるが幣
▲五錢二厘の軒柱を見る

りたるも日用諸雜貨の小貨物

其の鹽種は多樣 ならず
鹽に一二の等品に區分するのみ
現に數千名の鮮人入夫を使役し居るを以て之れを鹽産上より見るも
恰好の地方事業 といふ
今後更に擴張を得ば其の効果一
大なるものある可し 尤に官製
販路に就きて一言せしに朝鮮には
支那鹽産あり支那方面より天日鹽
輸入なきにあらざるも其の品質形
とも相違の點からざる事と之が
消費に關しては多少の懸念を免
ざりしが、事業開始以來鐵道販路
の擴張に努めし結果、今や鮮内到處
として官鹽を見ざるの地なく、價
の如きも支那鹽に比し率る高價を
負る狀況なるを以て其の産額にし
増加せば支那鹽の如きは自ら供給
絶つに至るなる可し、然れども官
田に在りては尚ほ生産の増加、經
済の減少等に急にして

あり、餘り以上の好成績を示し去る九
月未現在に於ては既に總額三萬二百
卅三圓七十錢の申込に達し、内官吏配
五百八十四圓三十三錢、民間側二萬九千七
百廿四圓二十七錢を示し更に十月
二十一日現在に於ては三萬百二圓三
十八錢に達せり

●清倉線營業成績 本月五
日、清倉線一部清倉港年開鐵道營業を
開始せられたり七日に至る三日間の
營業成績は客車收入六百八十二圓九
十二錢、貨車收入四百五圓計一千八十
七圓八十二錢にして乗車人員一千五
百五十七人、小手荷物斤量三千二百
十六斤及び貨物運送噸數二千三百
五十五噸有奇、貨物用品二十六噸なり、尚
ほ乗客は清倉港年開、最も多く貨
物は殆んど全部清津驛發送にて占め
居れり(清津)

●咸北内地人増加 咸鏡北
道在住の内地人は、昨年頃までは一
萬人を越へざりしが、昨年來鐵道工事
の進行と共に、漸く増加し、數年來
の減少等に急にして

●訂正、十五日夕刊第一面「吉原
氏を送りて」の記事中、東京まで隨
行の氏名中井上氏夫人を脱し、又有
護婦一名は二名なりし故訂正を乞ふ
旨北行中の村田氏より電報ありしに
依りて訂正す

すして胡蘿蔔、白菜のみならずは、松
しけれど米を加へたるは我等に深き
注意を著かしめぬ、パンの價は哈市
などに比すれば、清價額にも當れり
驛の食堂にも車中にも酒杯を手にし
る客は常て見ゆ、豈かなるは各停驛
驛にて無代供給せらるる香茶用、熱
湯のみ、車内の著や紳士、貴婦人も
商人も、老も若きも手に手に茶罐
提げて湯浴所の前に絡繰す
○午前六時卅分、各停驛を發し、僅か十
分に於てはまた停驛す、第一智多驛なり
後員加爾鐵道の工場ありて三千の
職工を常役す、一市二驛を有するは
珍らしく果して驛の富貴なかりに
を示せり、驛の西方五里、實ればかりに
クノ湖あり、湖は車窓より見ゆ、ね
ども湖名を以て呼ぶクノ湖の無縁、電
信柱は空を摩して立つ、日の光り美
しく、明けて吹雪、激しく寒強し(廿五日)

其補助に拂込の爲め取引上子
難を成じつゝあり

●質屋開店御披露

各位金々御清榮の段奉賀候扱て弊店繼續て京城明治町二丁目
(新築中の營業場所今般全部落成仕本年二月より開店致候に
は向今後共一層御客様本意にて親切に營業可仕此段御披露申
上候白

高完全なる倉庫の設備致候に就ては諸物品の保
存は勿論火防盜難豫防一至今御安全に候

京城明治町二丁目廿一番舊曙町

大塚質店

電話一八四九番

舊龍山元町二丁目(舊老松町)

大塚質店

電話五六五番

ホントノ味ハ今!

灘酒ノ權威※サハノツル冷御

實ガアツテマツタリトナタノ御口ニ

モキウツト合フ御家庭和樂ノ第一品

家庭必備
ノ良酒

※澤ノ鶴

特京城本町一佐藤牧商店
電話二九番

約龍山漢口通佐藤牧支店
電話四三九番

御愛馬を打たせられつゝ、親しく闘兵し給
鷹翼悠々天を翔り、劍戟燦然地

△天恩枯骨に及ぶ
陛下には陸軍特別大演習御統監
明として御座御座にさし
程に臨御玉杯を挙げさせ
れたなり 大元帥陛下には

本中尉第三十五號機は伊庭中尉

▽大宴會

銀相場で大儲け!! 秘密に公金
騰るので輸入品のでもないが奉天邊りの日

費用が嵩むので一定の収入
 人々は勿論役人でも軍人でも

四日夜大連支那人町小岡子に於て

立像りやうぞうは新羅しんら、坐像ざざうは高麗こうらい

て差支ないことである高麗像に
坐像が大分多く李朝ものにな

娘を操る黒い手

には弱つて居るさうだ併し公金兌換
弊は銀價昇騰の今日

◆**金券二枚** きんげんまい **を出す** だす **と黙つて取** だま

官に發砲す

上より被替したるが其後實母と自稱する大阪市北區野崎町九百五十一林

主人の嗅ぎ知る處となつて果さざ

成なり多おほいい朝あさ鮮せん婦ふ人じんは内ない地ちの女おんなに比ひる
頗おほる泣なみ者ものいたもので泣なきも驅かぎも

川町近邊の私娼窟らしい格好
 黄金町、北米倉町、長
 中々繁昌してくるのだが
 雇女の數も百

年三月より年五分利を附したる金を相手取り元金三千圓に明治四十年一月居住金業廣井に付の所

頼まれたる債權に基づき數萬圓を
立てたるにも拘らず今日迄右の三

伯同(三六)が大根を積たる荷馬車を
き京城黄金町五丁目を光熙門に向

ぎに本町署の警官駆付け車掌と共に救助して同人を總督府醫院に擔ぎ

やうな重罪犯人は滅多にない比較的多いのは袁逆罪である朝鮮人は田

七十八軒あり
 二百五十軒
 八より無い
 掲げてゐるものゝ内、近頃換氣

に最も滑稽なのは其の本夫なる
が自分の妻を許して情夫だけ

圓月から長いものは半年、一年もつて渡り歩くのである官憲で

藝師目な婦人の職業を求めて生活
資料を得やうとするものが

舌を噛み切て自殺を圖つた

花館 東京落語本川柳一座にて開演中
が相變らず好評にて連夜大入りの盛況なり
十二日夜の出し物左の如し

小銀

新荷著
保稅品有

酸加里

到本坡大耶本店

四四二二七七七號

大阪屋號書

電話一八〇〇

配合に因つて顯る
ハカリ、印のヘブリン丸は其配劑
の優れたる寔に理想以上なりこ
諸大家は之を賞讃せり
かぜは勿論總べて熱病に罹られ
たる場合には速かにハカリ、印の
ヘブリン丸を服用して熱を
解き全快せ
らるべし。



建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり

新義州常盤町

綠屋旅館

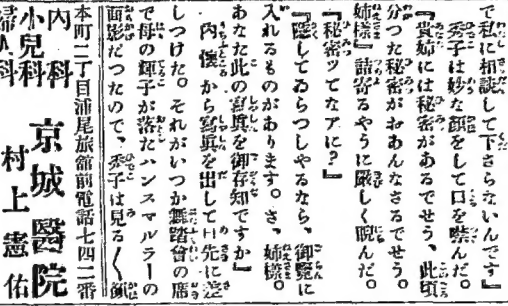
電話六四番

親切丁寧勤勉は當旅館の特色なり

渡邊默禪

「あら、何故? 不異面目に笑ふ。
感謝してゐらつしやるがらゐなら、
貴婦人を愛して下さらなければなら
ない筈です。夫ですのに些ども愛
して下さらないぢやありませんか。」
「そんなことは無いわよ。」
「無いことはございません。眞實の
妹だと思つて下さつたら、どんな
でも打明と御相談くださるのが當然
でせう。假令姉さまの耻になり怖れ
になることで、愛につなげられた姉
妹の心は一つなんですもの、耻も怖

京都府永樂町一商店陳列館近邊の上
花柳病 皮膚病 須古醫院
電話二〇二番



色を變へた。でも固く唇を結んだまゝ、知つてゐることも知らないことも言はなかつた。

「貴姉の母さまが貴姉にお贈りなすつた品ですし、母様の口から立派に告白なすつたことですから、よもや間違へてはありませうまい。姉様も貴姉にこんな深い／＼秘密が有るなら有るぢやありませんか、有るなら有るでよござんす。何故其時私に旅行先へお手紙を下すつて御打聞かせいせん。眞實の據でないことが分つたら、どんなとを爲るか分らないと思ひなすつて、それで私にまで秘密になすつたんで御座いますか」

山茶花の照り降、
柳

平立つ晴雨れてまゝ
 二ダ筋どこまで山茶花
 うね角の時雨なる、終
 古日山茶花の下播く
 石平つたく時雨なる、
 鳥胸並めて時雨れり
 事、ホロと山茶花
 木押し落て山茶花

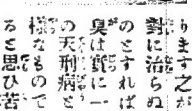
堂 丘

朝鮮農會報(十一月號) 半程に
幾三郎「牛蒡の作り方」増良小次郎

[illegible]

原因は腋臭

麝香は動物でありながら其身體の各部から發物たる芳香を發散して之に近づく者を懷物たらしめると云ふに人面が其腋下から異臭を放散し之に近づく者を懷殺すると云ふ事何と云ふ淺明しい罪障でせう此の臭の爲めに人交りが出来ず折柄結れた良縁も破散となり辛くも求めた就緒口も夫れとなく謝絶するの悲は人々實在の事實で悲愴の至りなりす之が對に治らぬものとすれば臭は實に一



ルニガツシ
形持一箇壹拾貳丸坊一製六拾拾丸
川經帶一箇八拾壹箇壹種 壹科四種
男用一
四月一
花柳病自宅療法由進
京城永樂町二丁目交番北
東京トラツク商會滿鮮本

部 皇次女 錢 上 打

東京本町二丁目
專賣店 前田酒店

贊化病院
醫學博士 醫學士
內科 小兒科
入院隨堂
每日五名を限り
無料施療
古城憲治
上野亮

最上蠟油

電話六九二五

山縣五十雄 村上唯吉 櫻十五
 當の道しるべ 郵便二銭
 京坂日報社代印
 大正十一年三月三〇日

大天理之學

[illegible]

寺開表

三河 九十九 二月 十日 午正出帆
 三河 九十九 二月 十日 午正出帆
 三河 九十九 二月 十日 午正出帆

尼崎汽船出帆

群山 有釜 釜下 下關 神後行
 秀吉 九十九 二月 廿六日 後四時出帆
 神君 九十九 二月 廿六日 後四時出帆
 吉九 九十九 二月 廿六日 後四時出帆
 仁川 九十九 二月 十八日 後四時出帆
 電話 五十五 九番 高杉 回漕 部

三河 九十九 二月 十日 午正出帆
 三河 九十九 二月 十日 午正出帆
 三河 九十九 二月 十日 午正出帆

芝罘 大連行 關東府府令命
 共同丸 二月 十九日 午正出帆
 共同丸 二月 十九日 午正出帆
 共同丸 二月 十九日 午正出帆

共同汽船出帆

芝罘 大連行 關東府府令命
 共同丸 二月 十九日 午正出帆
 共同丸 二月 十九日 午正出帆
 共同丸 二月 十九日 午正出帆

芝罘 大連行 關東府府令命
 共同丸 二月 十九日 午正出帆
 共同丸 二月 十九日 午正出帆
 共同丸 二月 十九日 午正出帆

1

大津、盛岡、主幹に、阿波、共同汽船株式會社、
德江、共同汽船株式會社、
阿波、共同汽船株式會社、
本町四丁目電話一七三番
仁川代理店 野口商會
春日町電話二四四七番
元山代理店 田口回漕部
南大河電話二六八二番
京城取次店 河村運送店

[illegible]

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

[illegible]

黃海丸 十二月二日
威龍丸 十一月廿三日

○江原丸 十一月廿一日 仁川發
清島、大連、芝罘行

○鎮南油、神戸、大國行
×天魯丸 十一月十七日正午時出

卷之六

